
ライスギャング

ナナシ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ライスギヤング

【Nコード】

N9157B

【作者名】

ナナシ

【あらすじ】

短いので読んでください。あんまりおもしろくないです。

もう俺はだめかもしれない。

今までに、こんなことは何度でもあった。

その度に俺は機転、時には気合いで強引に乗り越えてきた。でも、今回ばかりはそれも無理そうだ

今、俺の目の前には水の渦巻く白い淵が見える。そして俺は、その前に這いつくばってる。言わば、俺は崖の真ん前に立たされているのだ。

「はあ、はあ、ちくしょう。」

俺は情けない声を上げる。頭がクラクラする。

一步も動けない。小便が出そうだ。

くそ、くそ、くそ！何で俺はいつもこうなんだ。

今回は少し深入りしすぎたようだ。反省はしてる。後悔も。そもそも、俺はいいところで手を引くべきなんだ。わかってる。頭じゃわかってるんだ。でも、この取引はやめられない。奴らは、金と引き換えに快楽をくれる。全てを忘れさせてくれる快楽を。

しかし、それに溺れるとどうしようも無くなる。何も打つ手が無くなる。だから、今の俺はここにこうして這いつくばらせられている。

後ろで笑い声が聞こえる。アイツだ。俺のパートナー。仕事仲間の男。

アイツはヘマを踏まない。踏むことも無いだろう。滅法タフな奴なんだ。

俺が取引をするのは、大体コイツに声をかけられた時だけ。なのに、

俺だけいつもこんな目を受ける。ひどい話だ。俺が何をした？ 一体俺とお前の何が違う？

：こんなこと考えても無駄だ。アイツと俺の立場は決定的に違う。俺は床に這いつくばり、アイツはそれを見下ろしてバカ笑いをしている。アイツも相当キてるのはわかる。でも、こんな時くらいは助けてくれ！ くそ、頭が痛い！

頼む！ このままじゃ殺されちまう！

奴らは、悪意を持って俺の体を蝕んでるんだ！

いつもとは違うんだ！ 今度こそ、俺は死んじゃう！

それでも、アイツは動かない。アイツもわかってるんだ。こればかりはどうしようも無いことを。

「うー、ちくしょう。」

俺は力を振り絞って仰向けに転がる。

天井が見える。ライトも。

白い淵も。

もうだめだ。

意識が保てない。

「う…。」

俺は声にならないうめき声をあげた。薄れゆく意識の中でアイツの笑い声が聞こえた。

なんでだろう？ なんで俺は、いつもこうなんだろうな？ わからない。もうわからない…。

「ぎやはは！まさか便器の中に頭突っ込むとは思わなかった！たく、お前ホントに酒癖悪いな。特に日本酒と相性悪すぎ。ま、見るこっちはおもしろいけど。おおい、ちゃんと自分の足で歩けて！たく、ホントに世話の焼ける…お、タクシー！！」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9157b/>

ライスギャング

2011年1月9日02時10分発行